環　境

ノリ漉き体験　現状と課題は

人材不足が課題　教育委員会と連携

海辺の保全・再生

冨家　薫　議員（地域政党チームいちかわ）

生物多様性いちかわ戦略では、基本戦略の一つとして生物多様性の保全・再生を掲げているが、三番瀬を含む水辺環境の重要性を次世代に伝えるためには、学校教育等において体験的な取り組みを展開する必要があると考える。本市では三番瀬を代表するノリを使ったノリ漉き体験を行っているが、現状と課題を問う。

答　ノリ漉き講師の高齢化による人材確保が課題だが、講習会を開催し、講師を養成していく。市立小学校の一部では、授業の中でノリ漉き体験を実施しており、食育の観点からも効果的なことから、教育委員会と担当課で連携を図っていく。

ペット・動物

飼い主のいる猫も対象にできないか

調査研究していく

猫の不妊去勢手術費

久保川隆志議員（公明党）

本市は、飼い主のいない猫の不妊去勢手術費等や、譲渡を前提とした保護猫に対する入院や検査に伴う医療費全般についても助成制度を拡大している。不妊去勢手術をせずに飼育することから発生する多頭飼育問題の解決策として、本手術費等の助成対象を飼い主のいる猫にも拡大できないか。

答　本市は現在、市民の生活環境に影響の大きい飼い主のいない猫の不妊去勢手術等の助成を実施しているが、飼い主のいる犬や猫も助成の対象としている自治体もあることから、多頭飼育問題の未然防止のため、助成対象として拡大できないかを調査研究していく。

道　路　交　通

自転車走行環境整備工事の詳細は

毎年3路線程度の整備を予定

市内の道路整備

西村敦議員（公明党）

近年、矢羽根型の路面標示を設置する等の自転車走行環境整備工事が行われているが、その詳細を問う。

答　本工事は歩行者の安全確保等を目的に令和4年度から開始し、毎年3路線程度の整備を予定している。また、整備計画と本工事は別々に進めていたが、整備路線を選定する際の要素に、自転車走行空間として整備したレーン等への接続を検討していく。周知方法は、市公式ウェブサイトに事業内容等を掲載していく。

また、市が策定した自転車走行空間ネットワーク整備計画と本工事の整合性の保ち方及び本工事の周知方法についてどう考えているか。

どのような安全対策を講じているか

電柱幕の設置などで注意喚起

本八幡駅北口の交差点

稲葉健二議員（創生市川・自民党第1）

行徳街道と国道14号との交差点に歩車分離信号を導入する等を提案していたが、現状を問う。また、本八幡駅北口のスクランブル交差点は自転車に乗車したまま横断する人も多く危険だが、改善策を考えているのか。

答　行徳街道との交差点の信号について所轄警察に確認したところ、更なる渋滞の要因となるため導入は困難との見解であったが、協議を続けたいと考えている。また、スクランブル交差点には電柱幕を設置し注意喚起をしている。今後も令和8年度から導入される自転車への青切符制度の周知を行うと共に、交通ルールを守る意識の醸成に努める。

常　任　委　員　会　の　視　察

総務委員会

【日　程】令和7年10月21日～23日

【視察地及び視察項目】

・大垣市　生成ＡＩの利活用について

・安城市　生成ＡＩの利活用について

・東海市　コミュニティを中心とした地域連携体制について

大　垣　市

【主な視察内容】

大垣市では、各部署の特性に応じたＡＩ技術の導入を進めており、ＡＩ道路面診断システムによる道路損傷の自動診断や、市の保有情報を学習させたＦＡＱシステム「ＡＩ－ＦＡＱ」などを活用している。安城市では、令和６年度から生成ＡＩサービスを活用し、業務活用支援を実施していたが、７年度からは、より高性能かつ拡張性の高い生成ＡＩサービス「ＧａｉＸｅｒ」へと切り替え、全庁規模でのＡＩ活用を推進している。東海市では、地域の力がこれまで以上に重要となることから、コミュニティを中心とした地域連携体制の強化に取り組んでおり、地域力の向上と人材育成を図るため、職員の派遣、地域特性に応じた活動拠点の設置、コミュニティに対する補助金・交付金の統合など、様々な支援を実施している。

健康福祉委員会

【日　程】令和7年10月29日～31日

【視察地及び視察項目】

・春日市　福祉ぱれっと館について

・久留米市　結婚新生活支援補助金について

・福岡市　おむつと安心定期便について

福　岡　市

【主な視察内容】

春日市では、生活支援、就労支援、早期療育など、障がい者の自立支援の施設として、また、障がい者福祉の拠点施設として「福祉ぱれっと館」を設置しており、障がいのある人もない人も自由に交流することができる機会と場を提供している。久留米市では、市内における結婚後の新生活を応援するため、新婚世帯に対し、住宅賃借費用、住宅取得費用、住宅リフォーム費用及び引っ越し費用の一部を補助する事業を行っている。福岡市では、子育て世帯が子どもプラザ、産後ケア、産後ヘルパーなどの子育て関連施設やサービスを利用した際に電子スタンプを受け取り、そのスタンプを専用サイトで育児用品と交換することができる「おむつと安心定期便事業」を実施し、安心して子育てができる環境づくりを進めている。

環境文教委員会

【日　程】令和7年10月21日～22日

【視察地及び視察項目】

・名古屋市　名古屋スポーツコミッションの運営事業について

・小牧市　ＩＣＴ教育の取り組みについて

小　牧　市

【主な視察内容】

名古屋市では、市の特色を生かしたスポーツによる地域課題の解決、交流人口の増加、地域活性化、更には都市ブランドの向上という好循環を生み出していくため、「コーディネート」、「人材育成・派遣」、「調査・研究」、「情報発信」の４つの事業を基幹事業として実施するスポーツコミッションを設立した。小牧市では、市内小中学校においてコンピュータ教室の整備にいち早く着手するなど学校現場に必要なＩＣＴ環境の整備に積極的に取り組んでいる。児童生徒への１人１台のタブレット端末導入後は、授業支援ソフトウェアや学習ｅポータル等を活用し、各種連絡のデジタル化を進めており、令和３年度には、保護者連絡アプリを導入し、教員と保護者間の連絡（保護者からの出欠連絡、学校からの配布文書等）をデジタル化している。

建設経済委員会

【日　程】令和7年10月20日～22日

【視察地及び視察項目】

・金沢市　金沢未来のまち創造館について

・佐久市　⑴デマンドワゴンさくっとについて

⑵デジタル人材育成・育成就労支援プロジェクト（Cosmosta+）について

・上田市　チケットＱＲについて

上　田　市

【主な視察内容】

金沢市では、最先端技術を活用して新たなビジネスを展開する者等を支援すると共に、独創的で卓越した知識及び技能を持つ子どもを育成し、産業の振興に資するため、金沢未来のまち創造館を設置している。佐久市では、複数の利用者の目的地・到着時刻をＡＩ配車システムにより計算し、複数の者が乗り合わせた上で目的地まで送迎するデマンド交通のほか、様々な業種で需要が高まっているデジタル人材を育成し、就労を支援する市主催のプロジェクトである「Cosmosta+」を開始している。上田市では、物価高騰等で影響を受けている市内経済の活性化を目的に、キャンペーン期間中に専用アプリからチケットを入手し、市内の対象店舗で使用すると金額に応じて割引が受けられる消費喚起キャンペーンを実施した。